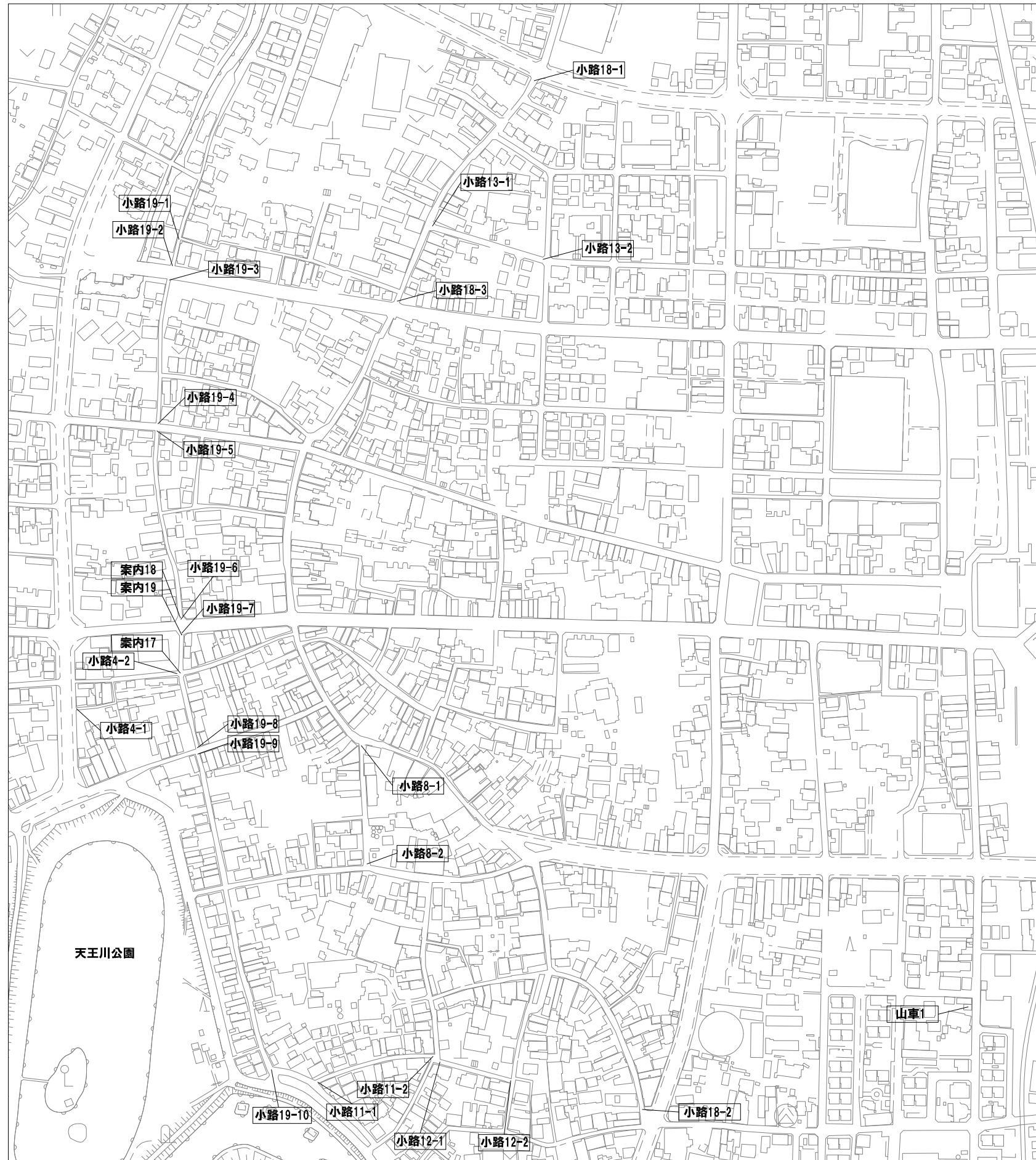


案内板位置図

歴史文化ゾーン



神守地区



- 案内○ 案内サイン
- 小路○ 小路名板
- 山車○ 山車紹介板

工事名	観光案内板設置工事
路線名	-
工事場所	津島市内
図面名称	案内板位置図
縮尺	S=1:4000
図面番号	1
津島市 建設産業部 産業振興課	



書体
タイトル(和文): モリサワ 隷書101
タイトル(英文): モリサワ 隷書101

位置No.	縮尺
小路 4	1/4

朝日町車

Asahimachi kuruma (float)

朝日町車は^{おおつちしゃ}大土社の祭礼「^{いまいちばさい}今市場祭」の山車の一つで、
^{つしまし}津島市^{いまいちばちょう}今市場町に伝わります。江戸時代の地誌『^{ちようしゅう ざっし}張州雑志』
^{いまいちばひがしのきり}には今市場東ノ切の山車と記されています。現在は10月
 第1日曜日に本祭、その前日に場ならしが行われます。



からくりは「^{ゆだち みこ}湯立神子」で、神子舞と湯取りの神子、鼓と笛の楽人の4体で構成されます。

湯取り神子が両手に持った笹で湧き上がったお湯をまき散らすと、湯に見立てた紙ふぶきが釜から舞い上がります。これに触れると無病息災が叶うと言われています。



津島山車保存会WEBサイトへ
 津島山車保存会



R10

書体
 タイトル(和文):モリサワ 隷書101
 タイトル(英文):モリサワ 隷書101
 説明1 :モリサワ 新ゴ R
 説明2 :モリサワ 新ゴ R
 サイト紹介 :モリサワ 新ゴ R

位置No.	縮尺
山車 1	1/4

600

540

中町車

Nakamachi kuruma (float)

中町車は「かもりまつり神守祭」の山車の一つで、ほうとしじんじゃ穂歳神社の祭礼として、つしまし かもりちやう なかまち津島市神守町中町に伝わります。江戸時代中期の史料『びようむらむらさいれいしゆう尾陽村々祭礼集』に「神守祭」の記録があります。以前は不定期の祭でしたが、現在は10月第1日曜日に本祭、その前日に前夜祭が行われます。



神守町は名古屋型の山車で、華やかな桜の飾り花が特徴です。

中町車の上段の大將人形は梅と鶴を愛した中国宋代の詩人「りんわせい林和靖」で、中段は小兄・弟の二体の唐子が置かれ、小唐子(弟)が梅の木に「逆立ちして太鼓を叩く」離れからくり演技を行い、前棚は采振りの唐子を置きます。人形はたまき玉屋庄兵衛、大將人形の頭は隅田真守の作です。



津島山車保存会WEBサイトへ
津島山車保存会 検索



R10

書体
 タイトル(和文):モリサワ 隷書101
 タイトル(英文):モリサワ 隷書101
 説明1 :モリサワ 新ゴ R
 説明2 :モリサワ 新ゴ R
 サイト紹介 :モリサワ 新ゴ R

位置No.	縮尺
山車 13	1/4



書体
 名称(和文) :モリサワ 隷書101
 名称(英文) :モリサワ 隷書101
 距離 :モリサワ 隷書101
 通名(和文) :モリサワ 新ゴR
 通名(英文) :モリサワ 新ゴR

位置No.	縮尺
案内 17	1/5